

## アリエッティ水和剤の性状と安全性

アリエッティ水和剤はホセチルを有効成分とする浸透移行性殺菌剤です。

### ●有効成分

一般名	ホセチル (Fosetyl-Aluminium)
成分量	80.0%
化学名	アルミニウムトリス(エチル=ホスホナート) Aluminium tris(ethyl phosphonate)
構造式	
性状	類白色水和性粉末

### ●安全性

急性毒性 (製剤)	普通物	ラット(経口)	LD <sub>50</sub> ♂ 9450mg/kg LD <sub>50</sub> ♀ 7250mg/kg
		ラット(経皮)	LD <sub>50</sub> ♂♀ >5000mg/kg
魚毒性 (製剤)	コイ	LC <sub>50</sub> (96時間)	13.8mg/l
	オオミジノコ	EC <sub>50</sub> (48時間)	43.3mg/l
	藻類	ErC <sub>50</sub> (72時間)	34.5mg/l
蚕に対する影響	800倍、10日以上で影響なし(夏蚕、晩秋蚕)		
ミツバチに対する安全性	接触法(200μg/ハチ)と摂餌法(400μg/ハチ)の高濃度で投与しても、その48時間後の死亡率は非常に低かった。本剤のミツバチに対する毒性は相対的に低いものと結論された。 (メイ・アンド・ベーカー研究所)		

## アリエッティ水和剤の適用病害および使用方法

2011年1月現在の登録

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用時期*	使用回数*	使用方法	
にんじん	黒葉枯病	800	7日		散布	
かぼちゃ	疫病	400~800	前日	3回		
きゅうり	べと病					
メロン	べと病	800	3日			
ねむろ	疫病	1,500	前日	2回		
ほうれんそう	べと病					
みつば	べと病	1,000	14日ただし伏せ込み栽培は伏せ込み前まで	2回		
ぶどう		800	30日			
かんきつ	苗疫病 褐色腐敗病	400~800	前日	3回		
なし	黒斑病 輪紋病 疫病	800 800~1,000	14日			
キウイフルーツ	果実軟腐病	600	幼果期ただし120日	2回		
煙わさび(根茎)	べと病		21日	3回		
わさび(根茎)			畑育苗期 植付時	1回※		苗浸漬
パイナップル	心腐病 根腐萎凋病	400~800	開花期	2回※ (苗浸漬は1回)		1株当り100m <sup>l</sup> 土壌灌注
さるなし	果実軟腐症	600	60日	1回		散布
サラダ菜	褐斑病	1,500	3日	2回		
エンサイ	白さび症	1,000	7日			
りんご	すす点病 すす斑病 斑点落葉病	800~1,000	前日	3回		
	褐斑病	1,000				
パッションフルーツ	疫病	800	7日			
たばこ	疫病	400~800	大土寄時	2回	1株当り200m <sup>l</sup> 株元灌注	
	舞病		移植時		1株当り100m <sup>l</sup> 株元灌注	

\*パイナップルでのホセチルの総使用回数は2回以内、ただし、苗浸漬は1回以内。  
\*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

## △ 使用上の注意

### △ 使用上の注意事項

- 散布液調製後できるだけ速やかに散布してください。
- フロアブル剤と混用する場合、必ずフロアブル剤を最初に所定濃度に希釈してからアリエッティ水和剤を最後に加えてください。
- 石灰硫黄合剤およびボルドー液との混用は避けてください。また、無機銅を含む剤との混用および近接散布は葉害を生ずる恐れがあるので避けてください。
- ほうれんそう、わけぎに使用する場合、誤って高濃度で散布すると葉害を生ずることがあるので、所定濃度を厳守し、重複散布を避けてください。
- なし(但し、幸水、豊水を除く)に使用する場合、6月中旬までの散布は、葉に葉害を生ずる恐れがあるので避けてください。なお、幸水及び豊水に使用する場合、6月中旬までの散布は、葉にクロロシス等を生ずる場合がありますが、通常は実用上問題ない程度です。
- かんきつに使用する場合、未硬化葉がコルク化する葉害が生ずる恐れがあるので留意してください。
- みかんに使用する場合、高温時は日焼け果発生を助長するおそれがあるので注意してください。
- ぶどうに使用する場合、幼果期から果粒肥大期の散布は、果粉の溶脱を引き起こすので使用は避け、新梢伸長期から落花期まで及び袋掛け以降に使用してください。
- 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落とすようにしてください。

### △ 安全使用上の注意事項

- 1) 誤飲、誤食などのないよう注意してください。
- 2) 粉末は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 3) 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 4) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- 5) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

### △ 保管上の注意事項

- 1) 高温あるいは吸湿しやすい条件下では、物理的性状が劣化するおそれがあるので、直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

1. 使用前にラベルをよくお読みください。
2. ラベルの記載以外には使用しないでください。
3. 小児の手の届かぬ所に置かないでください。

## バイエルクロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8282 www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室： ☎ 0120-575-078 (9:00~12:00, 13:00~17:00) 土・日・祝日ものごく

L3-2008/11.01JW

## 浸透移行性殺菌剤



## アリエッティ 水和剤



## 作物の自己防衛機能強化による確かな効きめ

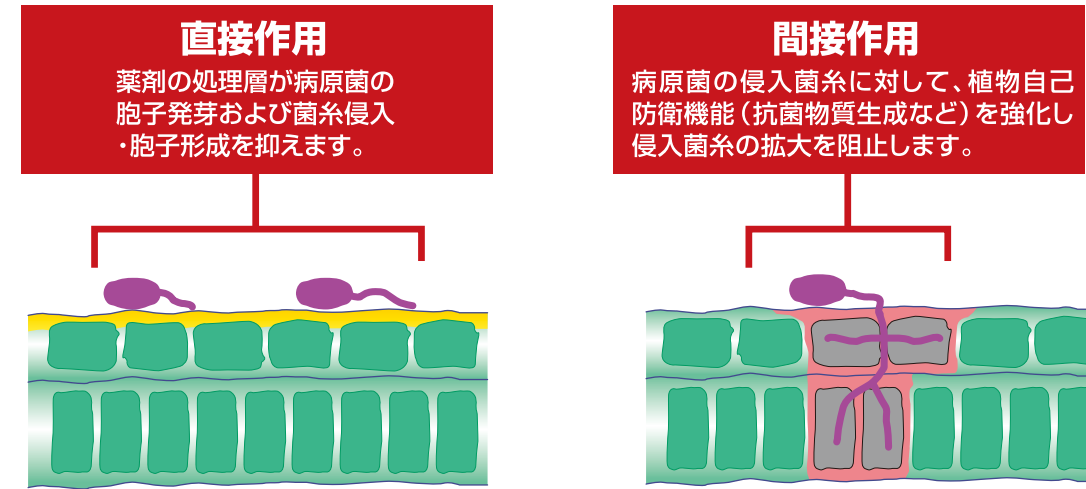
Bayer CropScience

© はバイエルグループの登録商標

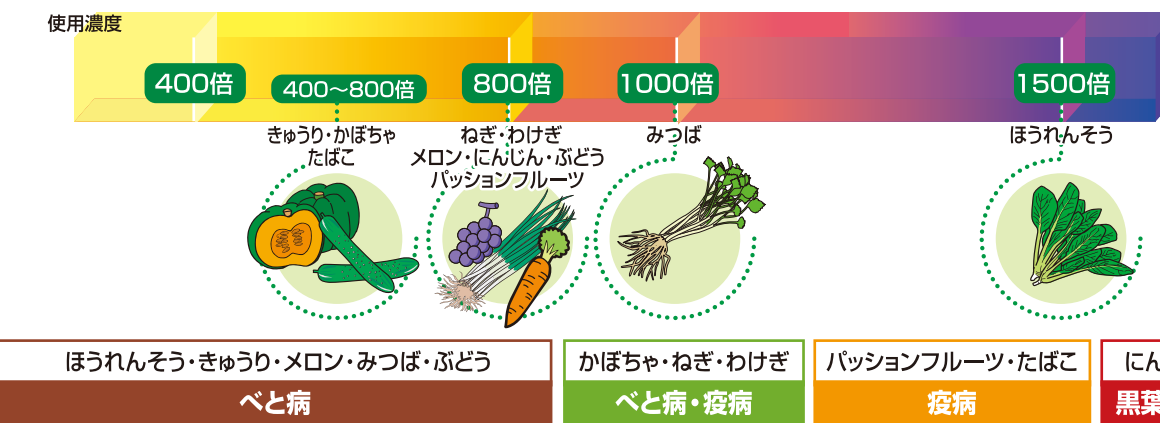


# アリエッティ水和剤は、 直接的な殺菌作用と、 間接的な抵抗性誘導作用により 安定した効果を発揮します。

## 殺菌作用と抵抗性誘導作用



- 散布適期は「発生前から初発時」
- 作物の成長が盛んな時期の散布は、特に効果的です。



アリエッティ水和剤の主成分であるホセチルは、作物の自己防衛機能を高め、生育の盛んな時期の葉や新梢に浸透移行し、内部から病原菌の侵入を防ぎます。したがって、耐性菌の発現の心配の少ない殺菌剤です。

## アリエッティ水和剤の各種作物に対する試験成績

公的試験機関での試験例を記載していますが、実際の防除場面では品種、栽培条件、使用濃度、使用時期などにより効果・薬害が異なる場合があります。



### 1 ぶどう べと病に対する防除効果

供試薬剤	希釈倍数	発病率 (%)
アリエッティ水和剤	800倍	3.1
A剤	800倍	11.5
無処理	—	92.6

試験場所：三重県・伊賀農業センター(1985)  
供試品種：巨峰 13年生  
発生状況：多発生  
散布日：6月17日、27日、7月8日  
調査日：7月16日



### 5 ねぎ べと病に対する防除効果

供試薬剤	希釈倍数	発病率 (%)
アリエッティ水和剤	800倍	2.0
A剤	600倍	2.0
無処理	—	12.0

試験場所：埼玉県植物防疫協会(1989)  
供試品種：長寿  
発生状況：少発生  
散布日：9月25日、10月2日、9日  
調査日：10月16日



### 2 かんきつ 褐色腐敗病に対する防除効果

供試薬剤	希釈倍数	発病率 (%)
アリエッティ水和剤	400倍	6.6
アリエッティ水和剤	800倍	3.3
B剤	500倍	6.6
無処理	—	48.0

試験場所：三重県・紀南かんきつセンター(1986)  
供試品種：茶原早生 8年生  
発生状況：少発生  
散布日：9月11日  
調査日：10月6日



### 6 かぼちゃ 疫病に対する防除効果

供試薬剤	希釈倍数	発病率 (%)
アリエッティ水和剤	400倍	8.7
アリエッティ水和剤	800倍	10.2
A剤	400倍	15.4
無処理	—	49.7

試験場所：沖縄県農業試験場(1985)  
供試品種：えびす  
発生状況：中発生(接種)  
散布日：4月19日、27日、5月5日  
調査日：5月15日



### 3 きゅうり べと病に対する防除効果

供試薬剤	希釈倍数	発病率 (%)
アリエッティ水和剤	400倍	7.7
アリエッティ水和剤	800倍	13.3
C剤	600倍	16.0
無処理	—	44.0

試験場所：神奈川県園芸試験場(1980)  
供試品種：ときわ光3号P型  
発生状況：多発生  
散布日：6月4日、11日、17日  
調査日：6月23日



### 7 にんじん 黒葉枯病に対する防除効果

供試薬剤	希釈倍数	発病率 (%)
アリエッティ水和剤	800倍	41.2
D剤	500倍	66.7
無処理	—	88.9

試験場所：岩手県植物防疫協会(1994)  
供試品種：春まき5寸(初夏どり作型)  
発生状況：多発生  
散布日：7月4日、18日  
調査日：8月9日



### 4 ほうれんそう べと病に対する防除効果

供試薬剤	希釈倍数	発病率 (%)
アリエッティ水和剤	1,500倍	0
C剤	600倍	6.5
無処理	—	10.1

試験場所：千葉県農業試験場(1985)  
供試品種：ミンスターランド  
発生状況：少発生  
散布日：5月9日、16日  
調査日：5月28日



### 8 メロン べと病に対する防除効果

供試薬剤	希釈倍数	発病率 (%)
アリエッティ水和剤	800倍	18.2
C剤	600倍	40.0
無処理	—	100

試験場所：石川県砂丘地農業試験場(1985)  
供試品種：ふかみどり  
発生状況：甚発生  
散布日：9月9日、14日、18日  
調査日：9月20日